

エコアクション 21

環境活動レポート

平成 29 年度版

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

作成日 平成 30 年 5 月 25 日

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合



目 次

項 目	ページ
環境行動方針	P 1
1.事業所の概要	P 2
2.EA21 実施体制	P 4
3.環境目標	P 5
4.環境活動計画	P 6
5.環境目標の実績	P 7
6.環境活動計画の取り組み結果とその評価、 次年度の取り組み内容	P 8
7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P 9
8.代表者による全体評価と見直しの結果	P 10
9.その他の取り組み	P 11



ご挨拶

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合は、代表理事を先頭にし全役員・全社員一丸となって、地球温暖化を始めとする深刻な地域環境への問題意識を高め、廃棄ではなくリサイクルへ向けて企業努力し、社会貢献する事を最大の目標としています。皆様のご理解と共に、ご意見ご指導いただければ幸いです。

環境行動方針

当組合は省資源・省エネルギーに努め、当組合に与えられた使命を自覚し、次世代へ残せる様に地球環境の維持と保全へ向け、努力します。

- 1 地球温暖化防止の為、省電力・自動車燃料の省エネルギーを推進する。
- 2 廃棄物の細かい分別による排出量の削減とリサイクルを行う。
- 3 法令遵守し、地域社会の方々と共に環境保全を推進し、社会貢献に努める。
- 4 この環境方針を全社員に周知徹底させるべく、社員教育を実施する。
- 5 排出事業者へご理解・ご協力を依頼する。
- 6 グリーン購入に取り組む。
- 7 産業廃棄物の収集運搬における環境配慮に努める。

作成日 平成19年6月13日

改訂日 平成26年7月 1日

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合

代表理事 石川 成央



1.事業所の概要

(1)事業所

名称 福岡県産業廃棄物処理事業協同組合
所在地 福岡本部 〒812-0894 福岡市博多区諸岡 2-9-13
代表者名 代表理事 石川 成央
福岡支部 〒812-0881 福岡市博多区井相田 2-11-7
支部長 石川 成央
北九州支部 〒805-0044 北九州市八幡東区豊町 1783-1
支部長 吉原 照代
久留米支部 〒838-0106 小郡市三沢 3003-1
支部長 星野 祐之

(2)環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

責任者 石川 成央
担当者 権藤 栄一・原 正洋
連絡先 TEL 092-573-2067 Fax 092-573-8545
E-mail アドレス fsk@ninus.ocn.ne.jp

(3)事業活動

産業廃棄物の収集運搬
収集先は主に福岡県、佐賀県の自動車ディーラー

(4)組合設立年月日

昭和 51 年 12 月 18 日

(5)資本金

900 万円
事業年度平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

(6)売上高 (平成 29 年度)

46,000 万円

(7)事業の規模 (平成 29 年度)

	延床面積	従業員数	収集運搬量
福岡本部	68.4 m ²	4 人	4,407t
福岡支部	28 m ²	8 人	2,178t
北九州支部	32 m ²	8 人	1,346t
久留米支部	26 m ²	8 人	2,037t
合計	154.4 m ²	28 人	9,968t

(8)許可の内容

〔産業廃棄物収集運搬業〕

許可県・政令市：福岡県 許可番号：04000006899 許可年月日：平成26年5月29日 許可の有効期限：平成31年5月28日 事業の範囲： 廃プラスチック類. 金属くず. ガラスくず等. 汚泥. 廃油. 廃酸. 廃アルカリ. 紙くず. 木くず. 繊維くず. 動植物性残さ. ゴムくず	許可県・政令市：佐賀県 許可番号：04103006899 許可年月日：平成28年1月11日 許可の有効期限：平成33年1月10日 事業の範囲： 燃え殻. 汚泥. 廃油. 廃アルカリ. 紙くず及び木くず並びに廃プラスチック類. 金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
--	--

〔特別管理産業廃棄物収集運搬業〕

許可県・政令市：福岡県 許可番号：04050006899 許可年月日：平成25年11月9日 許可の有効期限：平成30年11月8日 事業の範囲：廃油, 廃酸, 廃アルカリ	許可県・政令市：佐賀県 許可番号：04153006899 許可年月日：平成25年8月25日 許可の有効期限：平成30年8月24日 事業の範囲：廃油, 廃酸, 廃アルカリ
--	--

(9)施設等の状況

運搬車両

運搬車の種類	福岡本部	福岡支部	北九州支部	久留米支部	合計
タンク車	4台	1台	1台	1台	7台
パッカー車	0台	7台	4台	5台	16台
キャブオーバー	0台	1台	1台	1台	3台
ダンプ	0台	3台	2台	3台	8台
合計	4台	12台	8台	10台	34台

積み替え、保管施設等は無し。

(10)受託した処理量の実績

処理量 (t)

処理方法等	廃棄物等種類	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収集運搬	汚泥	92	30	39
	廃油	4,395	4,297	4,368
	廃プラスチック	2,665	2,758	3,054
	金属くず	1,713	2,077	2,135
	その他	392	378	372
収集運搬量合計	—	9,257	9,540	9,968

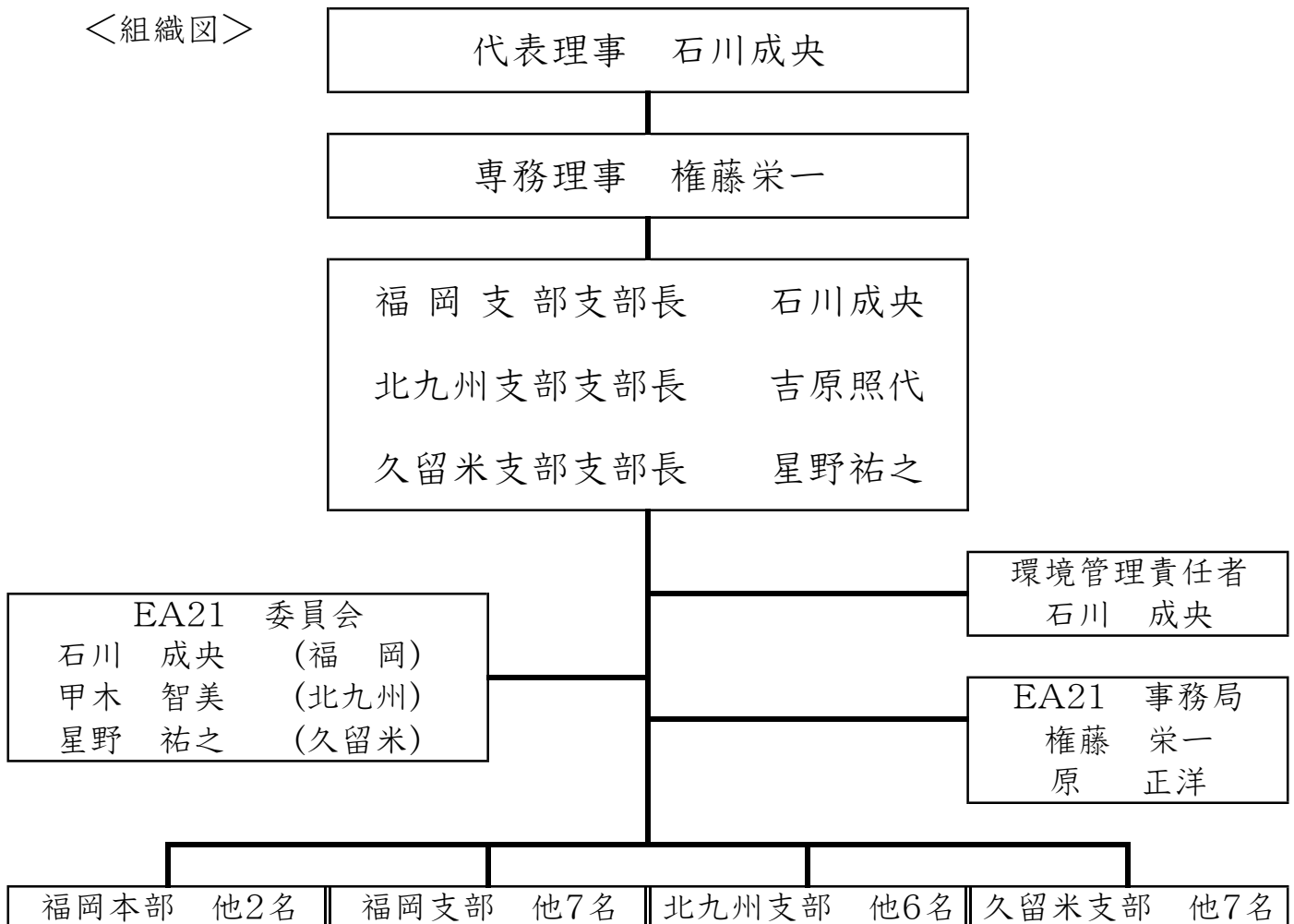
(11)処理料金

料金につきましては、種類・量にて異なりますので、ご相談ください。

2. EA21実施体制

・当組合のEA21実施体制と各担当の役割は、以下の通りです。

<組織図>



役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
石川 成央	代表理事	全体統括、環境方針の設定、環境への取り組みを実施する為の資源の準備、全体の評価と見直し
石川 成央	環境管理責任者	環境経営システムの構築、運用、報告
石川 成央 甲木 智美 星野 祐之	EA21委員会	各支部毎の軽油、電気、水使用量の確認・評価、法規遵守のチェック、緊急時訓練の実施、コミュニケーションシートの確認、問題の是正処置の検討
権藤 栄一 原 正洋	EA21事務局	EA21文書及び記録等の作成・維持・管理 EA21委員会の開催・進行
全員	各支部	環境への取り組みを実施する 問題点や取り組み上の課題があれば報告する

3. 環境目標

- ・当組合の平成29年度の環境目標は、以下の6項目です。
- ・目標値は平成27年度の実績値を維持していく事としています。

NO	環境目標項目	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標	
				平成27年度	平成29年度	平成30年度	
				H27年4月～H28年3月	H29年4月～H30年3月	H30年4月～H31年3月	
1	二酸化炭素排出量の削減	①-1 軽油使用量の削減	福岡本部 福岡支部 北九州支部 久留米支部	ℓ	109,359	109,359	109,359
				kg-CO ₂	286,995	286,995	286,995
		①-2 収集運搬量あたりの二酸化炭素排出量	福岡本部 福岡支部 北九州支部 久留米支部	kg-CO ₂ /t	31.6	31.6	31.6
		②電気使用量の削減	福岡本部 福岡支部 北九州支部 久留米支部	kWh	9,801	9,801	9,801
				kg-CO ₂	5,724	5,724	5,724
合計	福岡本部 福岡支部 北九州支部 久留米支部	kg-CO ₂	292,719	292,719	292,719		
2	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	福岡本部 北九州支部	kg	154	154	154	
3	水使用量の削減	福岡本部 福岡支部 北九州支部	m ³	152	152	152	
4	環境保全の実施 (社会貢献活動)	福岡支部 北九州支部 久留米支部	—	各支部毎が地域の清掃活動をする。			
5	グリーン商品購入	福岡本部 福岡支部 北九州支部 久留米支部	—	物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品購入を選ぶ。			
6	本業に関わる目標	福岡本部 福岡支部 北九州支部 久留米支部	—	環境に優しい車両導入を推進する。			

備考 ・電力の二酸化炭素排出係数は0.528kg-CO₂/kWh

(九州電力(株)平成27年度実排出係数)を使用した。

- ・化学物質については取り扱いがないので目標から除外した。

4. 環境活動計画

・環境目標を達成するための具体的な活動計画は、以下の通りです。




NO	環境目標項目	活動項目	責任者	スケジュール
1	二酸化炭素排出量の削減	① 軽油使用量の削減 1. アイドリング・ストップによる省エネ運転 2. 急発進・急ブレーキをしない 3. 車内清掃 (車内に余計な荷物は乗せない) 4. 定期点検の励行 5. 環境に優しい車両導入時期の可能性を検討する	福岡本部：森部利光 福岡支部：大神浩記 北九州支部：仲野 衛 久留米支部：大地昌行	通年
		② 電気使用量の削減 1. 空調の温度管理(夏27度 冬21度) 2. クールビズ、ウォームビズ 3. 待機電力カット 4. 電気製品の見直し	福岡本部：原 正洋 福岡支部：石川成央 北九州支部：甲木智美 久留米支部：星野祐之	夏季：5月～10月 冬季：11月～3月 通年
2	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	1. できる限り資源回収をし、可燃ゴミを減らす	福岡本部：原 正洋 北九州支部：甲木智美	通年
3	水使用量の削減	1. できる限り水使用を控える	福岡本部：原 正洋 福岡支部：石川成央 北九州支部：甲木智美	通年
4	環境保全の実施 (社会貢献活動)	1. 各支部毎が地域の清掃活動をする	福岡支部：石川成央 北九州支部：甲木智美 久留米支部：星野祐之	福岡支部：隔週土曜日 北九州支部：毎週土曜日 久留米支部：隔週土曜日
5	グリーン商品購入	1. 物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品購入を選ぶ	福岡本部：権藤栄一 福岡支部：石川成央 北九州支部：甲木智美 久留米支部：星野祐之	通年
6	本業に関わる目標	1. 支部毎に基準を設け、環境に優しい車両導入を検討する	福岡本部：原 正洋 福岡支部：石川成央 北九州支部：甲木智美 久留米支部：星野祐之	通年

5. 環境目標の実績

当組合の環境目標の実績については、以下の通りです。

- ・設定した環境目標6項目のうち二酸化炭素排出量（総量）、水使用量の項目で目標達成できませんでした。ただし、収集運搬量あたりの効率は目標達成しました。
- ・総量での目標未達成の主な原因は、軽油使用量の増加にあり、これは処理量そのものが大幅に増大した為と、取組みが十分に出来ていない事が考えられます。
- ・今後は目標値の妥当性を検討し取組みの更なる強化を図って行きます。

NO	目標	単位	平成29年度		達成率	判定	評価及び次年度の取組み
			目標	実績			
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	292,719	308,648	94.8%		二酸化炭素排出量及び軽油使用量は目標未達成。 全員でエコ運転を心がけて軽油使用量の削減に取り組む。
	①軽油使用量の削減	ℓ	109,359	115,549	94.6%		
	②電気使用量の削減	kWh	9,801	10,515	93.2%		電気使用量は目標未達成。 福岡本部のみ目標達成。 各支部ともより一層節電に取り組む。
	③収集運搬量あたりの二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /t	31.6	30.1	105.0%		収集運搬量は増加しているが、効率は改善できている。
2	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	kg	154	116	132.8%		廃棄物排出量の削減は目標達成。 今後も廃棄物削減に取り組む。
3	水使用量の削減	m ³	152	176	86.4%		水使用量は福岡本部のみ目標達成。 各支部は引き続き節水を心がける。
4	環境保全の実施 (社会貢献活動)	—	福岡支部 隔週土曜日 北九州支部 毎週土曜日 久留米支部 隔週土曜日				環境保全の実施は目標達成。 これからも引き続き積極的に地域への社会貢献をしていく。
5	グリーン商品購入	—	商品購入の際、グリーン商品購入を意識し購入した。				グリーン商品購入は目標達成。 グリーン購入法適合商品一覧を作ったので、今後も購入に役立てる。
6	本業に関わる目標	—	支部毎に基準を設け、環境に優しい車両導入を検討した。				福岡支部がダンプを1台購入。 今後も環境に優しい車両購入を検討する。

達成状況の判定  : 達成率 ≥ 100%  : 100 > 達成率 ≥ 95  : 達成率 < 95 *達成率 = (目標 ÷ 実績) × 100

6. 環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

1.二酸化炭素排出量の削減

①軽油使用量の削減

・チェック表を作成し、毎日各ドライバーがチェックして意識を高めた。

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)アイドリングストップによる省エネ運転	△	更なる周知徹底して取り組む
(2)急発進・急ブレーキをしない	△	更なる周知徹底して取り組む
(3)車内清掃（車内に余計な荷物を乗せない）	○	継続して取り組む
(4)定期点検の励行	○	継続して取り組む
(5)環境に優しい車両導入時期の可能性を検討する	○	継続して取り組む

②電気使用量の削減

・省電力についての取り組みは各支部共に実施できた。

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)空調の温度管理(夏27度 冬21度)	△	更なる周知徹底して取り組む
(2)クールビズ、ウォームビズ	○	継続して取り組む
(3)待機電力カット	○	継続して取り組む
(4)電気製品の見直し	○	更なる周知徹底して取り組む

2.廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)できる限り資源回収をし、可燃ゴミを減らす	○	継続して取り組む

3.水使用量の削減

・当組合での洗車をやめ、水使用は手洗い・食器洗浄・トイレに限られているが、水量が増加している。

・水道局からシールを取り寄せ各水道蛇口に貼付し意識付けをしている。

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)できる限り水使用を控える	△	更なる周知徹底して取り組む

4.環境保全の実施(社会貢献活動)

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)支部毎が地域の清掃活動をする	○	継続して取り組む

5.グリーン商品購入

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品購入を選ぶ	○	継続して取り組む

6.本業に関わる目標

取り組み内容	評価	次年度の取り組み
(1)支部毎に基準を設け、環境に優しい車両導入を検討する	○	継続して取り組む

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当組合に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。
- ・利害関係者からの訴訟もありませんでした。
- ・今後も環境関連法規や規則を遵守いたします。

当組合の事業活動で適用される「廃棄物処理法」の主な遵守事項と遵守結果

適用事項	遵守内容	遵守判定
法律第14条 施行令第6条の9,13 施行規則第9条の2	区域を担当する県知事の許可が必要。期間は5年。	現在、許可地域で期限切れは無し。
法律第14条1の14 法律第14条3の3 法律第14条4の14	収集運搬を他人に委託、名義を貸して業を行わせてはならない。	収集運搬は全て、当組合で行っている。
法律第14条1の15 法律第7条1の15 規則第2条の5	産廃の種類毎に、必要な事項(日付、受け入れ先、運搬先毎の運搬量)を記載した帳簿を作成し5年間保存する。	パソコンに全て管理、記録している。
法律第12条3の2 法令第14条1の15 規則第8条21～30	管理票に委託者の氏名、年月日、運搬量を記載する。 管理票の保管期間は5年間。	管理票は全て氏名、日付、運搬量の記載を確認・保管している。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・代表者による平成29年度の環境への取り組み状況に対する全体評価と見直し結果は以下の通りです。

(1)取り組み状況の全体評価

- ・環境経営システムは毎月の車両燃費の提出により経営にも活かされ一定の機能は保たれてると考えられます。
- ・環境への取り組み状況は全ての項目で実施できましたが、6項目中2項目（二酸化炭素排出量（総量）、水使用量）の目標が未達成となりました。
- ・このうち当組合において重要な軽油使用量の削減目標については、色々で見直し等に努めましたが目標達成には至りませんでした。今後も引き続きエコ運転に取り組みます。

(2)計画の見直しの必要性

- ・環境方針は変更無しとします。
- ・環境活動計画については変更なしとします。
- ・環境目標については車両の入れ替え等もあり平成30年度は平成29年度の実績値を目標にしたいと思えます。
- ・ドライバーのエコ運転向上の為、JAF主催のエコ運転トレーニングに参加し軽油使用量削減を目指します。

9. その他の取り組み

- ・本年度はJAF主催のエコトレーニングへ参加して来ました。
- ・詳細は以下の通りです。

管理No,12

平成29年11月26日 エコトレーニング（於 佐賀県運転免許試験場）

内容



評価

効率よく走るにはゆっくり走るだけでなくエンジブレーキ等を使い周りの車に合わせるのも大事な様です。全員での参加は無理でしたが今後は参加人数を増やしエコ運転をもっと身近に行動出来る様に努めたいと思います。